

尿酸値、気にしていますか？

坂下厚生総合病院 薬剤科 仙波奈美

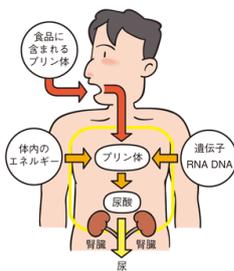
健康診断で「尿酸値が高い」といわれた経験はありませんか。

「尿酸値が高いと痛風になる」という言葉を聞いたことがあっても、検査結果で初めて「尿酸値」というものを意識した方も多いのではないのでしょうか。

今回は、お問い合わせの多い「痛風」について、お話しします。



<尿酸とはどんなもの？>



「尿酸」は、私たちの体の中に常に存在していて、作られる量（産生）と体の外に出される量（排泄）のバランスにより一定量に保たれています。この尿酸の材料となるのが「プリン体」と呼ばれる物質で、尿酸はプリン体を代謝した結果生じる老廃物（燃えカス）です。

<痛風ってどんな病気？>



*製薬：メディカスインターコン株式会社

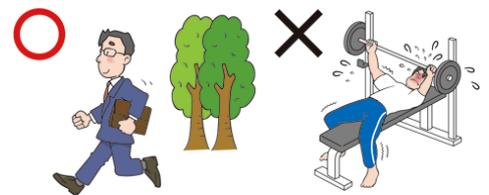
「痛風」は尿酸が体の中にたまり、それが結晶になって激しい関節炎を伴う症状になる病気です。痛風発作はある日突然に始まります。足の親指のつけ根の関節などに起きやすく、耐えられないほどの激的な痛みとともに、関節が大きく腫れあがります。



痛風発作は夜中から朝方にかけて起こりやすい特徴があります。

<痛風（高尿酸血症）を治療するには>

まずは、食事や運動など生活習慣の見直しから始めます。すでに痛風発作や合併症がある場合などは、薬物による治療が必要になることがあります。尿酸値が気になる方は、医師に相談して適切な治療を受けるようにしましょう。



尿酸降下薬の種類

尿酸生成抑制薬	尿酸排泄促進薬
フェブキソスタット アロプリノール	ベンズプロマロン プロベネシド プロコーム
 尿酸が体内で作られるのを抑えます。	 尿酸を体の外に出しやすくします。

参考資料：薬と検査 2014,痛風財団「痛風とはどんな病気」,帝人「尿酸さげよう」